

ラッシュ・インターナショナル
ディレクター

梅村 美咲さん

(うめむら・みさき)



プライベートを全力で楽しむために仕事も頑張っているという梅村さん



毎月第1土曜日に掲載

ウェブサイト制作・運用、SNS(交流サイト)運用、アンケート調査・分析、コールセンター・キャンペーン事務局代行などの事業を展開するラッシュ・インターナショナル(名古屋市中区)。ディレクターの梅村美咲さん(30歳)は入社以来毎月、その月を振り返ると、仕事でも人間としても成長を実感できているという。

大学でデザインを学んだ後、地元の総合小売業に就職し、チラシやDMなどを制作するDTPデザイナーとして勤務。その経歴を活かしながら新しい分野でスキルアップしようと考え、2017年12月、ラッシュ・インターナショナルに入社した。女性が活躍している同社のウェブ、コンサルティング、マーケティングという分野なら、将来結婚や出産でライフステージが変化しても活躍できると考えたからだ。

現在、梅村さんはディレクター

壁を乗り越えた経験がやりがい

理解と感謝で家庭と両立

ーとしてウェブサイトやSNSの運用・マーケティング、アンケート調査、チラシやDMの制作など、同社の多岐に渡る事業で幅広くディレクションを行っている。いわゆるマルチタスクだ。中でも前職の経験を活かし、デザインに関する仕事と比較的多い。

ただ、未経験の業務も多いため、入社して最初の半年は上司のアシスタントとして、指示された細かい作業を行いつつながら仕事を覚える日々だった。同時に礼儀作法やメモの書き方など、社会人としての常識も学んでいた。社内の雰囲気は良く、コミュニケーションを取りやすい職場環境だった。最初は倉田満美子社長からも厳しく教えられたが、今は感謝しているという。

入社半年後、東京オフィスに転勤になり、まもなくアシスタントとして入社した。最初は上司の指示に従って作業を行っていたが、徐々に自分で考えられるようになってきた。入社半年後、東京オフィスに転勤になり、まもなくアシスタントとして入社した。最初は上司の指示に従って作業を行っていたが、徐々に自分で考えられるようになってきた。入社半年後、東京オフィスに転勤になり、まもなくアシスタントとして入社した。最初は上司の指示に従って作業を行っていたが、徐々に自分で考えられるようになってきた。



後輩にも、なるべく自分で考えるように仕事を教えるという

からディレクターになった。最初にディレクターとして担当したのはウェブサイトのメンテナンスからSNS運用まで幅広く請け負っている、大きなクライアントだった。担当になったばかりの頃は依頼に対応しているだけで精一杯だったが、徐々にこちらから提案やアドバイスもしていけるようになった。

これまで何度か壁にぶつかったが、乗り越えることができ、そんな経験が仕事のやりがいにつながった。大手のクライアントのキャンペーンに密に関わり、成果を街で見かけた時はうれしかったそうだ。

21年11月に結婚。名古屋にもクライアントがあり、リーダーとして名古屋のメンバーをサポートする理由から、これまでも毎月10日間くらいは名古屋に来ていたが、この春から夫が名古屋に転勤となり、東京と名古屋で過ごす時間がほぼ半々になった。仕事と家庭の両立には、互いの仕事を理解し、感謝し合うことが大切だという。

同社は愛知県のファミリー・フレンドリー企業表彰を受け、今はウィーク40、つまり「1週間で40時間働く」という制度を導入。40時間内であれば勤務時間の融通が利くので、とてもありがたいという。

体力もガッツもあって多くの仕事を抱えてしまうことも多い。限られた時間を有効活用できるよう、もっと柔軟に働くためのスキルアップが目標だ。